

社会資本総合整備計画(地域住宅支援)

はこだてえきまえ だいもんちく かつせい
函館駅前・大門地区の活性化

ほっかいどうはこだてし
北海道函館市

令和2年1月

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

計画の名称	函館駅前・大門地区の活性化													
計画の期間	令和02年度～令和06年度(5年間)								重点配分対象の該当					
交付対象	函館市													
計画の目標	当市の中心市街地の核となる函館駅前・大門地区で、市街地環境の更新と商業活性化に資する複合施設の整備により、魅力ある中心市街地の再生を図る													
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)		2,502	A	2,500	B	0	C	2	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0.07	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	中心市街地における函館駅前通(旧樺二森屋前)の歩行者数を1,716人/日(R1)から3,100人/日(R7)に増加 駅前通りにおける歩行者通行者数を計測する。 2,829人(H30)+2,829人*11.2%	R1 1716人/日	R7 人/日	R7 3100人/日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												R02	R03	R04	R05	R06					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
住環境整備事業	A16-001	住宅	北海道	函館市	間接	組合	-	-	函館駅前東地区第一種市 街地再開発事業	公共公益施設, 商業施設, 住 宅, ホテル等 約1.0ha	函館市						2,500	1.24	未策定		
												小計						2,500			
												合計							2,500		

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
住環境整備事業	C16-001	住宅	北海道	函館市	直接	函館市	-	-	函館駅前にぎわい創出事業	再開発事業区域内でのベンチ等の設置	函館市						2		未策定
		基幹事業（市街地再開発事業）と一体となって整備することにより，にぎわい創出の効果をより一層高める。																	
											小計						2		
											合計						2		

事前評価チェックシート

計画の名称： 函館駅前・大門地区の活性化

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○

事前評価

チェック欄

III. 計画の実現可能性

円滑な事業執行の環境 3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。

○